

会 議 録

- 1 会議の名称 図書館協議会
- 2 開催日時 令和6年11月15日（金）午後1時30分～3時
- 3 開催場所 熊取町立熊取図書館 2階ホール
- 4 議題 案件1 委員長・副委員長の選出
案件2 障がい者・高齢者サービスについて
案件3 その他
- 5 公開・非公開の別 全部公開
- 6 傍聴者数 1人
- 7 審議会等の概要

●案件1 委員長・副委員長の選出について

委員長に山本委員、副委員長に森本委員が選出された。

●案件2 障がい者・高齢者サービスについて

【事務局からの説明】

事前配布資料「図書館利用に障がいのある方へのサービス」及び「町内高齢者利用状況の推移」について説明した。また、資料の中で取り上げた様々な形態の資料や読書支援機器の実物を手に取り、ご覧いただいた。

【委員からの主な意見・感想等】

○リーディングトラッカーやプレクストークは初めて聞いたが、今年から導入したのか。
→以前から置いている。リーディングトラッカーは、2019年に設置した「りんごの棚」に見本で置いている。

○障がいを持っている人の数値、そのうち図書館を利用できている人の実態を数的に掴んでおいたほうがいい。障害者手帳を持っていないがいろんな条件で図書館に障がいを持っている人の図書館利用がどうなっているか、サポーターを含めて当事者の声を聞き取り、サービス内容を考えて欲しい。障害者サービスは図書館だけで取り組むのではなく、障がい者の介助者や、行政の担当課の福祉課などとの連携が必要。学校においても、障がいではないけれど学習についていけない子どもたち、不登校になってる子どもたち、いろんなことに困難を抱えてる子どもたちも含めて、図書館の利用を促し、

読書のバリアを取り除いてもらいたいので、計画していけるとよい。

→数値については、「図書館活動報告」p.8 II-(11) 図書館や図書の利用が困難な方へのサービスの中で、所蔵資料状況やサービス利用状況を掲載。障がいのある子どもへの支援については、「図書館活動報告」p.13 III-(7) に掲載。宅配サービスの利用者は、現在は7名。視覚障がい者として利用されている登録者は数人、そのうちアクセシブルライブラリーの利用登録者数やなどは、ある程度数字として掴んでいるが、大活字本の利用はとて多く利用者数は掴めていない。

→今年度から熊取町では、不登校の子どもが行く場所ができ、週2回登校している。秋頃から、そこに登校している子どもが月に2回程度図書館を利用し、先日も本のPOP作りなどしてもらった。

○宅配サービスの制度が、公にされていて希望してどういう手続きをとればいいのか、図書館が遠くて行きたいけど行けない、読みたいけど読めないという方にとっての宅配サービスが具体的にどのようなサービスか。

→宅配サービスは、障がいや病気、高齢などによって自力で来館が困難な方を対象としている。図書館をよく利用されていた方で外出が困難になった利用者の申し込みが多い。現在、2週間に1回行ってるコースと3週間に1回行ってるコースがある。利用者の希望に合わせて、本を用意して、自宅まで配達している。

○支援学級へのサービスでスクールサービスデーの実施など、学校図書館司書との連携は？

→全校に配置されている学校図書館司書を通して、依頼により本を用意するなど支援学級へのサービスも受けている。今年度のスクールサービスデーでは、先生が自ら子どもたちに体験させたいと、支援学級の子たちを引率し、書庫で子どもたち自身が本を選んで、バーコードリーダーでスキャンして自分の本を借りる体験を行った。毎週読み聞かせをするための本を届けている学校もある。学校図書館司書から子どもたちのいろんな見えない障がいなどに合わせて、子どもたちの読みたい本のレファレンスがある。

○学校図書館司書と、公共図書館の司書との交流の場や、学校の図書館担当の先生も含めての会議等の回数は、どれぐらいあるのか。

→学校図書館司書と熊取図書館の司書、学校図書館司書担当の学校教育課の先生との会議がほぼ毎月1回実施し、そのうち年間数回の研修会では、除籍本の選定や、各学校の図書の時間の見学を行っている。司書教諭を含めての会議は、年度初めと年度末1回ずつ「学齢期子ども読書活動推進会議」において、一堂に会しての会議も行っている。「図書館活動報告」p.11 参照。

○手厚いサービスなので現役のスタッフだけでこなせるのか。負担が大きいなら、先に手を打っておいたほうがよい。

→読書友の会のシニア絵本の会が、施設に行って読み聞かせしたりとか、文庫連も学校の支援学級で読み聞かせをしたりというボランティアのグループもあり、協力いただいて進めている。

○ボランティアはこれからどう育成していくのか。

→布の絵本は図書館の講習から立ち上がったボランティアグループで、去年から、図書館のボランティアへの参加を広報などを使って個人へ呼びかけており、最近少し増えている。また、30周年記念事業「としよフェス」の中でこの布の絵本の活動を知ってもらうためにも、今まで作った布の絵本全タイトルをりんごの棚に置くなど、活動のPRから進めている。ただ育成は長い目でしく必要が

ある。

○学校での障害のある子どもたちへのサポートは、今後連携による取り組みを充実していけたらと思う。

●案件3 その他

○図書館から、図書館開館30周年記念事業について

- ・11月4日開催の「としよフェス」の報告
- ・11月9日開催の連続講座「かりそめのひとりごとはおもしろい」の報告
- ・1月24日子ども読書研修会及び1月25日子育て研修会「絵本の楽しさを子どもたちに」のお知らせ
- ・3月23日旅をテーマにした大学連携文化講演会のお知らせ
- ・12月～「おはなし小包」（読書会れもん司書のおすすめで取り上げた本を小包にして、本を読みつなげていく企画）のお知らせ

○図書館から、熊取町立図書館の30周年記念に寄せたメッセージのお願いについて

30周年記念事業を冊子にまとめる予定で、その冊子に図書館協議会委員からのメッセージも掲載予定（配付資料）

○委員から、今回のテーマに関係する雑誌の紹介

- ・「ビッグイシュー」9月15日号：特集 読書バリアフリー
- ・「みんなの図書館」12月号：特集 誰ひとり取り残さない図書館をめざして、取り組む

○いろんな統計・調査の結果から小学高学年ぐらいから読書時間が減っているの、教育委員会の大きな枠の中で、ブックスタートから始まったの取り組みと、それをつなげていく取り組みについて検討していただきたい。

○次回は、2～3月に開催予定。

8 審議会の情報	名称	図書館協議会
	根拠法令等	図書館法、図書館条例
	設置期間	平成6年4月1日～
	所掌事項	図書館の運営に関する事
	委員数	10名

9 担当課	図書館
-------	-----